

ペストコントロールオペレーター

有限会社 ヒートアップ 浅野 拓 紀

昨年に引き続き2回目の寄稿になります。

先日大きな問題となりました、某大手チェーン店様の異物混入問題から少し時間が経過しましたが、未だに飲食業界の害虫害獣の問題は全く改善されずニュースで取りだたされております。

我々PCO協会の活躍の場がこの先も永遠になくなることはない、と日々思いながら仕事に従事しています。

ゴキブリを駆除する事、根絶する事はもちろん一番大切な事ではありますがもう一つ我々の最大の使命は、現場改善後の継続的なフォローも大切ではないかと強く思います。

改善すればそれで良い！のではなくご依頼主様がこの先も害虫害獣に狙われにくい環境を造り続けていく事。

そしてそれをきちんとお客様に環境の改善が大切であることを、何度も何度も伝えていくことも大切な事ではないでしょうか。

もちろん現場の責任者様だけではなく、本社や本部のご担当者様にもご協力していただき三位一体となってお客様の大切な店舗を管理していくのです。

そして私たちオペレーターが心掛けていきたい思い、それは薬剤散布に頼り続けるのではなく最小限にとどめながらレスケミカル防除を意識し、環境管理(機器下の掻き出し清掃)を徹底しペストをコントロールしていくことも大切ではないかと思えます。

さてネズミに関してはどうでしょう。

工事も捕獲も苦戦しつづけるネズミ防除。(ネズミも人間対策の勉強会をしている事でしょう)どんな現場でも基本に忠実にと心掛けています。

入店し電気をつける前、電気をつけた後、施工中バッティングした際

ネズミがどの方面に逃げていくのか？(逃げていく方向に侵入口がある可能性が高い為、ヒントになる為)

もちろん全く出てこなくて苦戦する時も多々あります・・・笑

移動が可能なモノ、動かされるモノは全て移動させ作業しやすい環境を整え、身体を奥までいれて見えない所があればスコープカメラやミラーを使用し、移動しづらい縦型冷蔵庫やコールドテーブル等はジャッキを使用し移動させその裏を見る。

そこに侵入口がなくても確認ができた事により安心するのです。

大変ですが毎度確認を致します。

そしてこの作業を怠る事はできません。

死角を無くすためには手が抜けない作業なのです。



弊社ではネズミの捕獲作業をメインにするのではなく、穴埋めを徹底する。

侵入口が100箇所あり99箇所穴埋めをしても、たった1箇所の侵入経路の遮断を妥協すれば当然その1箇所からネズミは侵入していきます。

これが今の首都圏の賢い、そして恐ろしいネズミの実態です。

今、日本では人材採用、人財確保がより困難な状況であり、特に飲食業界は人手不足に日々苦戦しております。せっかく採用した人材が「ゴキブリやネズミの徘徊している厨房で働くのは嫌だ！怖い！衛生的に働きたくない！」と辞めていってしまう従業員のお話を、この数年で何件も店舗責任者様より耳にしました。

この現状を打破・解決できるのは私たちPCOしかいません。

いくらAIが普及された世の中になっても我々の業界はAIに任せることはまず難しいでしょう。ペストコントロールは結局人の手がないと仕上げられません。



これから先、技術力を養い難防除現場でも堂々と戦えるようなPCOプレーヤーになっていきたくいと強く思います。

飲食店、老人ホーム、ホテル、医療施設、商業施設等

ご依頼いただいで建物すべてを、きちんとした施工力で守りぬいてゆくべく日々作業させて頂いております。

建物から害虫獣を守る事の難しさを日々感じながら、我々の手で達成させお客様の満足につなげていきます。